



【PRESS RELEASE】

報道関係各位

2019年12月13日

リーボック

reebok.jp

リーボック初！植物由来素材から作られた高機能性ランニングシューズ 環境問題に配慮したサステナブルなニューモデルが登場 「FOREVER FLOATRIDE GROW」2020年秋発売へ



グローバルフィットネスブランドのリーボック（所在地：東京都港区六本木一丁目9番10号）は、環境問題に配慮した、持続生産可能（サステナブル）な商品開発の新たな取り組みのひとつとして、2018年に登場した「Cotton+Corn（コットン+コーン）」に続き、植物由来素材を使ったソールを採用した、初の高機能性ランニングシューズ「Forever Floatride GROW（フォーエバー フロートライド グロウ）」を、2020年秋に発売することを発表しました。

■「Forever Floatride GROW」とは

「Forever Floatride GROW」は、リーボックによるサステナビリティへの新たな取り組みのなかで誕生した、ブランド初となる植物由来高機能ランニングシューズです。今作は、リーボックが誇る独自のクッションング素材“Floatride（フロートライド）”を搭載した、軽量型ランニングシューズ「Forever Floatride Energy（フォーエバー フロートライド エナジー）」をベースとしています。高機能ランニングシューズとしての性能基準を満たしつつ、環境問題に配慮されたサステナブルな天然素材を選定している点が、従来の同モデルとは大きく異なる特徴です。

●アッパー

持続可能な形で調達されたユーカリ由来の素材を採用することで、高い通気性を実現しながら、使用後は自然に生分解され、最後まで環境に配慮されたモデルとなっています。

●ミッドソール

新たに開発された、唐胡麻（キャスタービーン、ひまし）などの天然素材を原料にしたミッドソールは、従来の軽量クッション性を担保しています。

●ソックライナー

侵入性増殖が進む地域から収穫された藻類を使用した、ブルームフォームを利用。このフォームは、天然の防臭効果を持っています。

●アウトソール

柔軟性と耐久性を持ち、反発性の高い天然ゴムを採用しています。このゴムは、通常の高機能シューズに搭載されている石油由来の素材とは異なり、本物のゴムの木からサステナブルに調達されています。





■ “Floatride”とは？

“Floatride”は、もともと宇宙靴開発のために開発された、軽量でありながらクッション性と反発性を両立させた先進的なフォーム素材“Floatride Foam（フロートライドフォーム）”を搭載したランニングシューズです。この独自技術が高い評価を受け、2018年には、米ランニング誌「ランナーズワールド」にて、ベストイノベーションプロダクトにも表彰されています。「Forever Floatride Energy」は、このフォーム素材の技術を活用しながらも、リーズナブルな価格帯に設定されており、これからランニングを始めようというエントリーランナーの方でも手に取りやすいモデルです。

コメント

マット・オトゥール (ブランドプレジデント/リーボック)

「地球は、あらゆるランナーにとっての競技場です。そこを走るアスリートのためにも、私たちには地球環境を浄化していく責任があります。今回、高い機能性を持つランニングシューズ「Forever Floatride Energy」に、植物由来素材を取り入れることで、高いサステナビリティと機能性を併せ持つランニングシューズを開発することが出来ました。今日の消費者は、より持続生産可能な商品を望んでおり、特にランニングコミュニティはこの課題について真剣に取り組んでいます。リーボックは、お客様が最高のパフォーマンスを発揮できることはもちろん、身に着けていて気持ちが良い商品を提供していきたいと考えています。」

ビル・マッキニス (バイスプレジデント/リーボックフューチャー)

「「Forever Floatride GROW」をつくる上での最大のチャレンジは、高い機能性を求めるランナーのニーズを満たせる、植物由来の原材料を開発することでした。3年に渡る商品開発を通して、植物素材を使ったランニングシューズというコンセプトは、ランニングに真剣に取り組むコンシューマーの間で強い共感を呼んでいることがはっきりとわかりました。同時に彼らは、決して機能性に妥協はしないと考えていることもわかりました。その結果として完成したのが、植物から生まれた、妥協のない機能性を持つ「Forever Floatride GROW」です。」

リーボックの環境問題に配慮した取り組み

■リーボックが目指す環境問題への取り組み

世界中の企業が環境を配慮した取り組みを展開しているなか、リーボックでは、サステナビリティ向上のために、次の2ラインに注力した商品開発を推進しています。

✓ [REE] G R O W (リーグロウ)

植物など天然素材による商品の開発、製造。

✓ [REE] C Y C L E D (リーサイクル)

リサイクル、または再利用された原材料による商品の開発、製造。

リーボックは、環境問題を考慮し、植物由来の素材を使用した商品の開発、製造を通して、石油由来のプラスチック素材の使用削減に取り組んでいます。さらに、商品に使用する原材料から新品のポリエステルを削減し、2025年までに完全に排除していくことに全力を注いでいきます。

■2018年に発売された「Cotton + Corn」

リーボックが取り組んできたプロジェクトに、“栽培”により、素材の持続生産が可能なコットンとトウモロコシを用いた、植物由来のシューズ「Cotton+Corn（コットン+コーン）」の開発があります。改良を重ね、シューズとしての履き心地や性能の高さだけでなく、環境に配慮されており、アッパーがコットン素材100%でできており、トウモロコシをベースとしたソールが採用されています。また、インソールの原料には唐胡麻の油が使用されているなど、USDA（アメリカ合衆国農務省）の承認を受けたバイオ素材を75%も含んだ、当時のシューズ市場で唯一の商品として注目を集めました。



▲「The NPC UK Cotton+Corn」

2018年8月 アメリカ合衆国にて発売。日本では未発売。